

運 営 推 進 会 議 報 告 書

開催日時 令和3年09月15日(木)		書面開催
資料配布者	議 題	
利用者 1名	・デイサービス事業報告	
学職経験者 1名	・避難訓練について	
市職員 1名	・熱中症対策について	
地域包括支援センター 1名	・個別機能訓練の取り組みについて	
事業所 1名	・ヒヤリハット報告	
資料配布内容		
<p>1. 運営状況報告</p> <p>登録者数：令和4年9月15日時点の利用者数・介護度別</p> <p>利用者合計：116名</p> <p>介護度：介護1（32名）、介護2（11名）、介護3（3名）、介護4（0名）、介護5（1名）</p> <p>支援1（25名）、支援2（25名）、事業対象者（18名）</p> <p>従業員数：管理者1名、生活相談員3名、看護師3名、理学療法士1名、介護士2名、ドライバー1名</p>		
<p>2. 避難訓練について</p> <p>年に2回、避難訓練を行っており、今年4月には震度4の地震を想定した避難訓練を行いました。次回は10月に火災を想定した避難訓練を行う予定です。</p>		
<p>3. 熱中症対策について</p> <p>今年は梅雨が短く、真夏日が長く体調を崩される利用者様が多くなりました。こまめな水分補給をして頂きながら運動に取り組んで頂きました。体操時や送迎時にはご自宅でも扇風機やエアコンを使用し涼しく過ごす事と、こまめな水分補給をして頂けるように声掛けを行いました。ご夫婦二人暮らしや、認知症の一人暮らしの方が多いためご家族様と送迎時の対応のお話をさせていただき、対応を行いました。</p> <p>また、厚生労働省推奨の熱中症対策の用紙を使用し利用者様にお話をさせていただきましたが、今後も継続していきます。</p>		

4. 個別機能訓練の取り組みについて

機能訓練の実施状況 事例紹介

K様 75歳 男性 要介護2 病歴：右被殻出血 高次脳機能障害 高血圧 糖尿病 脳梗塞

症状：多弁傾向にあり、意識散漫により話が止まらずふらつき転倒リスクあり

現在の移動時のご様子：独歩にて移動されている

現在に至るまで：令和3年右被殻出血発症し入院。左上肢麻痺、構音障害認め7月にリハビリ病院に転院され10月末に退院される。弟様と同居生活をされており、なるべく弟には迷惑をかけないようにとご自分で工夫され包丁を使用し料理等も行っている。近所のスーパーやコンビニに歩いて買い物に行くも、疲労感が強く注意が散漫し近づいてくる車にも気付かずぶつかりそうになることが多くある。お話される事が好きなためお話を夢中になり、特に歩行時はお話集中してしまうと集中力が無くなりふらつきが強く転倒リスクが高くなる。入院時は飲み物にトロミを使用しているも嚥下機能改善見られ、トロミの使用なく過ごされる。

デイサービスを週に1回利用し継続する事により、左上下肢に麻痺があり料理を行う際に左手で物をしっかり押さえたり握ったりする事が出来なかったが左握力の向上が見られる。

令和4年8月より要介護4から要介護2になり、デイサービスを利用する事に対して拒否の発言はあるも、どの動作を行うにも体が軽く感じると身体機能にも向上が見られ、お休みされる事なく来所して頂けています。

T様 84歳 要介護2 病歴：脊管狭窄症 急性破裂型股関節症 変形性脊椎症 変形性股関節症
心房細動

現在の移動のご様子：2本杖にて移動

現在に至るまで：脊管狭窄症による腰痛と股関節痛があり日常生活を送る上で支障が出てきた為平成30年6月に人工関節置換術を受け股関節の痛みは解消される。慢性的な腰痛は続き、歩行時は伝い歩きや、杖を使用している。ご自宅は広く段差が多くお一人での生活が難しい為、娘様のご自宅で生活をされるも同年10月よりご自宅に戻られ、お一人での生活を再開される。ご自宅で生活を行い、買い物や病院に行くことができるようになるために、下肢筋力向上に向けデイサービスの利用を開始される。

令和3年11月頃より左股関節に痛み感じるようになり1本杖での移動から2本杖での移動になる。急性破裂型股関節症を発症し令和4年9月30日2月に手術を受けられる。

退院後は娘様のご自宅での生活をし、デイサービスを利用。段差昇降が難しく送迎車への乗り降りが難しい為、送迎時は車椅子を使用し、室内では松葉杖を使用し歩行される。リハビリを継続して頂く事により、移動時は以前使用していた杖2本での歩行の許可が病院でおりた。理学療法士の指導のもと昇降訓練を継続する事によりご自身で送迎車に乗れるようになられ車椅子使用ではなくなる。今後お一人での生活が送れるようにリハビリを継続し住宅リフォームを行った。

5. ヒヤリハット・事故報告

起きた後の事故へつながらないための防止策

<p>送迎時</p> <p>自宅に到着後玄関を開けようと靴内の鍵を探すも見つからない。</p>	<p>対応策</p> <p>・行きを送迎車内に鍵を落としてしまったが、帰宅まで気づかなかった。利用者様が降りられた後、車内の確認を行う。一人暮らしの方が多いため自宅到着時に鍵を持っているかの確認を行う。</p>
<p>室内移動時</p> <p>シルバーカーを使用の利用者がシルバーカーを使用する事を忘れて移動しようとされる事がり、ふらつかれる。</p>	<p>対応策</p> <p>・シルバーカーを使用する利用者様が、移動される事をスタッフ全員がしっかりと意識をする。安全にシルバーカーを忘れずに使用して頂ける位置に置く。近位での見守りを行えない際には他のスタッフに声を掛けお願いをする。</p>
<p>室内移動時</p> <p>体調が悪く、普段の歩行状態より不安定だとお迎えに行ったスタッフより報告があったため、移動時は近位での見守りを行う様にスタッフ全員に申し送りを行ったが、スタッフの見守りが無く歩かれる。</p>	<p>対応策</p> <p>・申し送りの周知と徹底。</p> <p>体調に変化のある利用者様に対しては、普段よりスタッフ全員で意識をし見守りを行う。</p>

※運営推進会議はコロナウイルス感染予防対策といたしまして、今回は開催を中止させていただきました。会議で予定しておりました報告内容を参加予定者に配布し、ご意見をいただきました。

ご意見・ご質問

(瀬戸市役所 健康福祉部 高齢者福祉課)

・避難訓練について

避難訓練実施内容に、「リーダーが状況を把握しスタッフに的確に指示を行う」、「スタッフはリーダーの指示を待たずに状況を把握し動けるか」の総合的な評価はどうでしょうか。また、令和4年4月の避難訓練に、令和3年4月に実施された、「震度4の地震想定避難訓練」の反省点や改善策はどのように活かされましたか。

→・リーダーは的確に指示を行い、その他スタッフも指示を待つことなく状況を判断し声を掛け合い行う事が出来ました。去年の反省点・改善点として、救急セットを用意していましたが救急セットの中身の確認を定期的に行っていなかった為避難訓練を行う月に確認を行うと決めました。また、防災頭巾も用意はしてありましたが、保管場所が悪く必要な時にすぐに出せる事が出来なかった為、保管場所を玄関に変更しました。

・ヒヤリハット・事故報告について

送迎時の事例の対応策について、「自宅到着時に鍵を持っているかの確認を行う。」とありますが、事業所を出る前に鍵を持っているか確認をされたらどうでしょうか。

→ありがとうございます。検討させていただきます。

(地域包括支援センターしなの)

・コロナ禍で外出する機会が少なくなり、ADL に大きな変化が生じた高齢者の方が増えています。その中でも様々な場面を想定した避難訓練を実施して頂きありがとうございます。高齢者の方たちは日常の危機管理の意識が低いと思われる為、今後も年2回の避難訓練は継続して頑張って取り組んでいただきたいと思います。

デイサービス笑笑音品野さんは、たくさんの方たちから評判が良く包括としてもご紹介しやすいデイサービスさんです。リハビリも個人に合わせたメニューで無理なく実施されており、今後も1人でも多く元気な高齢者の方が増えるようにご協力しながら支援していただければと思っています。ヒヤリハットの対策もしっかり話し合われており、これからも事故に気を付けてリハビリをよろしくお願いします。

→ありがとうございます。今後も利用して頂ける利用者様の身体機能の維持・向上に向け支援させていただけるようにしていきます。

(理学療法士・学識経験者)

今回の症例にみられるような疼痛を主訴とする疾患、たとえば脊柱管狭窄症、変形性股および膝関節症は、疼痛や変形による不活動のため、抗重力筋（大腿四頭筋、殿筋群、下腿三頭筋など）の筋力低下や拘縮を招きやすい。そして、その障害がさらなる身体機能の低下を助長することを念頭に、十分な柔軟性と筋力向上の訓練を行うことが必要です。さらに、下肢関節や脊柱の疼痛は転倒リスクを高めることがわかっており、疼痛対策にも配慮することが重要です。そのための対策として、①歩行時に疼痛があるかどうかを調べる。②もし疼痛が中等度から重度であり、歩行時に転倒経験や膝折れ、ふらつきが現在と過去にあったかどうか尋ねる。①および②に該当し、不安を感じるなら、杖や歩行器などの工夫をおすすめします。

→ありがとうございます。利用者様の状態や気持ちを確認しながら、今後常駐する理学療法士に相談対応を行っていただけるようにしていきます。

(利用者 M 様)

・週に1回利用し、同級生の方と再開出来とても楽しく利用させて頂けている。足の上が悪かったが、入浴時など足をしっかり上げ浴槽をまたぐ事が出来るようになり、左腕をしっかりと上げる事が出来なかったが、両手を使用し上の荷物を取る事が出来るようになり、今後も週に1度の利用を続けていきたい。

→ありがとうございます。楽しい時間を過ごして頂き、今の身体機能の維持・向上に向け支援をさせていただきます。

(品野民生委員協議会)

・コロナ禍においてご苦労も多いと思いますが、引き続き地域のご老人の為によろしく願いいたします。

→ありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。

ご協力ありがとうございました。

